

米国 融資基準の厳格化により減速（08年7月消費者信用残高）

発表日：2008年9月10日（水）

～08年末にかけて緩やかに加速の公算～

第一生命経済研究所 経済調査部

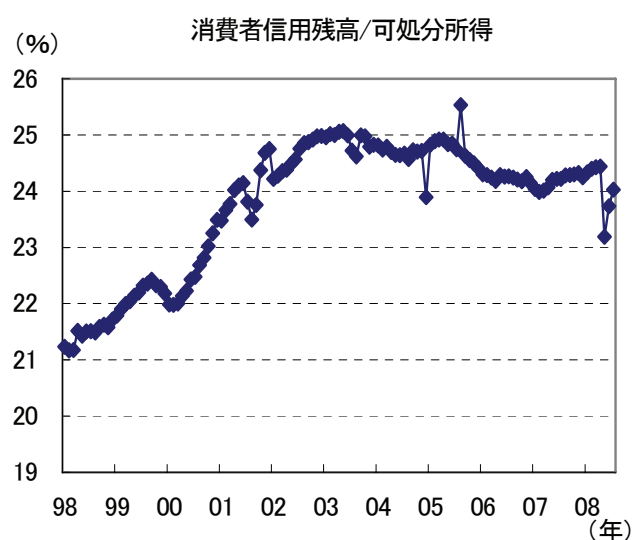
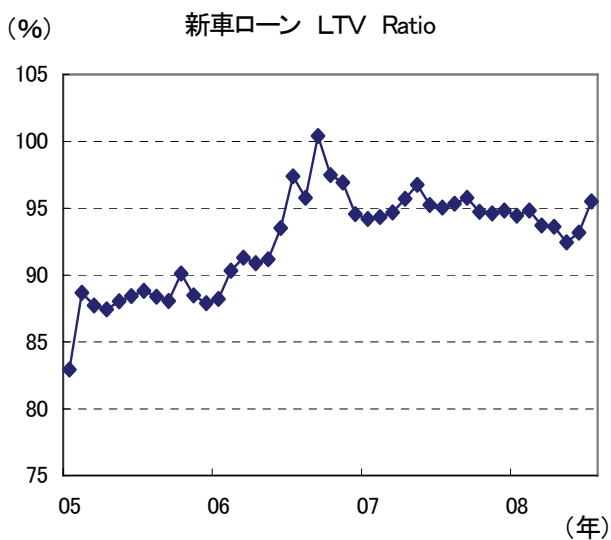
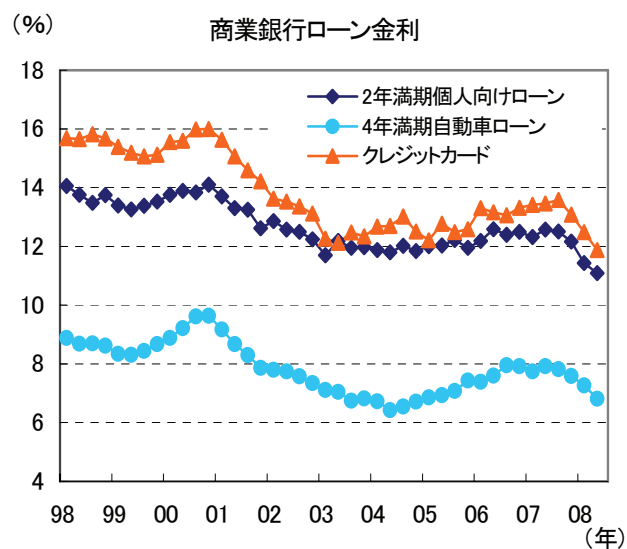
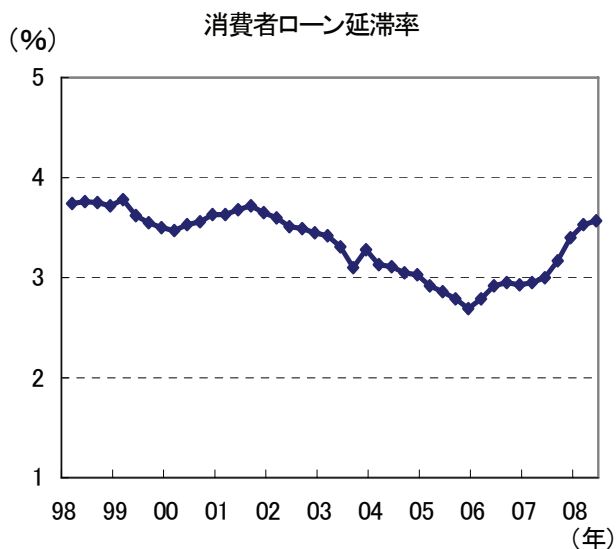
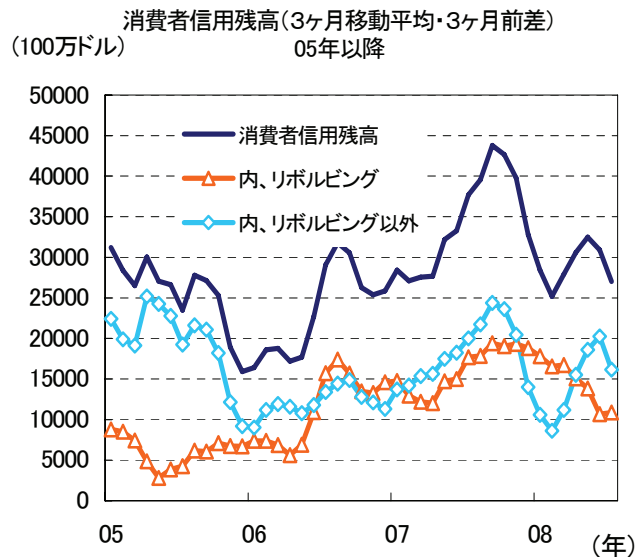
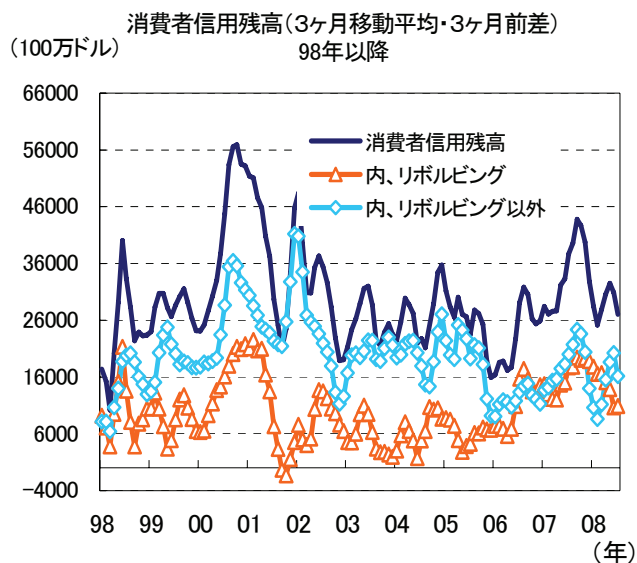
近江澤 猛(おおみさわ たけし)

03-5221-4526

- 08年7月の消費者信用残高（季節調整済）は2兆5874億ドル、前月差+46億ドル（前月比年率+2.1%）と、前月同+110億ドル（同+5.1%）から大幅に減速し、市場予想の同+86億ドルも大きく下回った。3ヵ月移動平均・3ヵ月前差でみると、2ヶ月連続の減速となり、融資基準の厳格化、雇用環境の悪化、物価上昇による消費者マインドの悪化により消費者信用残高の増加ペースは鈍化している。
- 内訳はリボルビング（クレジットカード等）が前月差+39億ドル（前月比年率+4.8%）と前月同+28億ドル（同+3.5%）から小幅加速、3ヵ月移動平均・3ヵ月前差でみると、07年11月以降減速基調にあり、前月から概ね横ばいとなったものの、増加ペースは06年5月以来の低水準である。融資基準の厳格化、雇用環境の悪化、物価上昇による消費者マインドの悪化により増加ペースは鈍化傾向にある。リボルビング以外（自動車ローン、モービルホームローン、教育ローン等）は同+7億ドル（同+0.5%）と前月同+82億ドル（同+6.1%）から大幅に加速、3ヵ月移動平均、3ヵ月前差では2月から加速を続けていたが、減速に転じた。比較的信用力の高い消費者を中心に借入れが行われてきたが、足元で融資基準の厳格化が一層強まっているものとみられる。
- 08年8月以降は所得税減税効果の剥落による消費減速と、融資基準の厳格化により信用残高の増加ペースは8～9月にかけて鈍化するものとみられる。その後年末にかけて、金融機関のバランスシート調整はピークを過ぎると予想され、融資基準の厳格化の動きに歯止めがかかることで、信用力の高い消費者を中心に貸出は緩やかに増加し、信用残高の増加ペースは緩やかに加速するものとみられる。

	消費者信用残高(10億ドル)			リボルビング(10億ドル)		リボルビング以外(10億ドル)	
		前月差	前月比年率(%)		前月差		前月差
07/08	2483.2	18.3	8.9	916.8	7.2	1566.4	11.1
07/09	2496.5	13.2	6.4	921.8	5.0	1574.6	8.2
07/10	2504.3	7.9	3.8	929.2	7.4	1575.1	0.5
07/11	2517.4	13.1	6.3	936.0	6.8	1581.4	6.2
07/12	2521.4	4.0	1.9	939.5	3.4	1581.9	0.5
08/01	2530.5	9.1	4.3	945.8	6.3	1584.7	2.8
08/02	2541.8	11.3	5.4	951.5	5.7	1590.4	5.7
08/03	2554.5	12.6	6.0	957.5	6.0	1596.9	6.6
08/04	2564.8	10.3	4.8	957.5	0.0	1607.2	10.3
08/05	2571.9	7.1	3.3	963.2	5.7	1608.7	1.5
08/06	2582.9	11.0	5.1	966.0	2.8	1616.9	8.2
08/07	2587.4	4.6	2.1	969.9	3.9	1617.5	0.7

（出所）FRB（連邦準備制度理事会）



(出所)FRB(連邦準備制度理事会)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。